

2021 年度 名古屋芸術大学 入学試験問題

特別選抜「社会人入試 2 期、海外帰国生徒入試 2 期、外国人留学生入試 2 期」

入試問題様式

試験科目：「小論文」

日 程：2020 年 2 月 2 日（火）

試験時間：50 分 / 解答字数：800 字程度

芸術 学部 芸術 学科 舞台芸術 領域

[課題]

舞台芸術は、芸術作品としての美しさやユニークさを追求するだけでなく、作品を通して社会の課題を浮き彫りにしたり、社会に問題を提起したりすることもあります。分野（音楽・演劇・舞踊）を 1 つ選んで、鑑賞者が舞台芸術を通して社会問題に触れる意義をあなたなりの観点で論じなさい。

[出題の意図等]

- ・ 受験生の舞台芸術への意欲を知りたい
- ・ 受験生の関心分野を知りたい
- ・ 鑑賞者の立場に立つことができるかどうかを知りたい
- ・ 鑑賞者の立場に立った上で具体的な想像力を働かせることができるかを知りたい

模範解答

芸術の価値に美しさがあることは言うまでもない。人間の営みが文化を生み出し、その美的表現として人間は芸術を織りなしてきた。ゆえに芸術家は美を追求し、人々の共感を得たり、人々に未知の世界を開いたりすることができる。人間の根底には、美的欲求があるのだろう。

しかしながら、芸術の意味は美のみではない。表現の源は人間の感情であり、それは生きる中で生まれてくるため、社会生活で生まれてくるものとも言える。社会はすべての人々に完全な満足や安定、安心をもたらすことはできず、不満足、不安定、危険をはらんでいる。このことから生まれる、いわば負の感情もまた表現の源になるのである。その結果、生まれてくる芸術作品は、美の追求ではなく、社会への怒りや悲しみ、新たな提案である。

そういった負の感情の表現としての芸術に触れることは、社会を知ることとしてとらえることができるだろう。芸術作品の鑑賞者は、社会が抱えている様々な問題を知ることになるわけだが、例えば演劇を例にとって考えてみると、そこにいる登場人物、登場人物の発する言葉、身体的な動き、舞台美術としてそこにある登場人物を取り巻く環境、舞台照明によって照らされる場の光、舞台音響によってその場に聞こえてくるさまざまな音など、すべての表現が社会問題の存在する現場なのである。

一般に社会問題に人々が触れるのは、新聞やテレビ、オンラインなどによるニュース配信であり、そこには、現場の概要はあってもリアルな現場は存在しない。ニュースを受け取る時は、多くの場合、表面的になるのだ。その点、演劇は、その社会問題に関わりのない人々にも、リアルな現場を伝えることができる。伝えられた人々はその事実を知り、何らかの行動を起こすことができるかもしれない。それは、社会問題の存在を解決に導くことではなく、広く発信することであったとしても価値が高い。なぜなら解決しがたい社会問題は常にマイノリティの問題だからだ。舞台芸術を通して社会問題に触れる価値は、この点にあると思う。